

# BOOKOFF GROUP HOLDINGS

## 2026年5月期 第3四半期 決算補足資料

2026年4月13日

ブックオフグループホールディングス株式会社

証券コード：9278

連結決算概要	・ ・ ・ ・	2
セグメント別概要	・ ・ ・ ・	4
不正事案に対する再発防止策の進捗	・ ・ ・ ・	6
国内ブックオフ事業 既存店の状況	・ ・ ・ ・	7
グループ新規出店・店舗数推移	・ ・ ・ ・	9
次の成長に向けた新たな取り組み	・ ・ ・ ・	13
連結業績予想	・ ・ ・ ・	15

- ◆ 中期経営方針3年目にあたる2026年5月期は、国内ブックオフ事業の既存店の伸長と各事業における新規出店により、売上高は引き続き伸長する。国内ブックオフ事業において、再発防止に向けた取り組みを進めながらも、持続可能な体制構築のための事業投資を継続し、連結では営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益を見込む。
- ◆ 国内ブックオフ事業、プレミアムサービス事業、海外事業、その他事業の各セグメントにおいて前期を上回り、第3四半期累計の連結売上高は95,782百万円（前期比108.4%）となった。人件費等の販売費および一般管理費が増加した一方で、国内ブックオフ事業、プレミアムサービス事業において増益となったことにより、連結経常利益は3,867百万円（同112.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,337百万円（同118.4%）となった。
- ◆ 第3四半期（3か月間）は、連結経常利益は2,412百万円（前期比139.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,595百万円（同150.3%）となった。
- ◆ 国内ブックオフ事業において、繁忙期である第3四半期の既存店売上高およびEC経由売上高がともに好調に推移した。
- ◆ 第3四半期の業績に加え、第4四半期における国内ブックオフ事業の来期大型出店等に向けた先行投資および不安定な国際情勢を背景としたプレミアムサービス事業における貴金属相場等の変動を踏まえ、通期業績予想を上方修正。

単位：百万円

	2025年5月期 3Q累計	売上比	2026年5月期 3Q累計	売上比	前年同期差	前年同期比
<b>売上高</b>	88,380	-	<b>95,782</b>	-	+7,401	108.4%
<b>売上総利益</b>	50,237	56.8%	<b>54,381</b>	<b>56.8%</b>	+4,144	108.2%
<b>販管費</b>	47,088	53.3%	<b>50,741</b>	<b>53.0%</b>	+3,652	107.8%
<b>営業利益</b>	3,148	3.6%	<b>3,640</b>	<b>3.8%</b>	+491	115.6%
営業外収益	554	0.6%	<b>562</b>	<b>0.6%</b>	+8	101.5%
営業外費用	257	0.3%	<b>335</b>	<b>0.4%</b>	+77	130.2%
<b>経常利益</b>	3,445	3.9%	<b>3,867</b>	<b>4.0%</b>	+422	112.3%
特別利益	0	0.0%	<b>71</b>	<b>0.1%</b>	+70	12562.3%
特別損失	119	0.1%	<b>223</b>	<b>0.2%</b>	+104	187.6%
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	3,326	3.8%	<b>3,714</b>	<b>3.9%</b>	+388	111.7%
法人税等	1,271	1.4%	<b>1,290</b>	<b>1.3%</b>	+19	101.5%
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	0.1%	<b>87</b>	<b>0.1%</b>	+6	108.4%
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	1,974	2.2%	<b>2,337</b>	<b>2.4%</b>	+362	118.4%

## 国内ブックオフ事業

直営既存店においてトレーディングカード・ホビー、貴金属・腕時計・ブランドバッグ、アパレル、書籍等の売上高が前期を上回ったことで、第3四半期累計売上高83,118百万円（前期比107.3%）となった。

人件費やシステム機器の更新等のシステム関連費用の増加に対し、既存店売上高の伸長に伴い売上総利益が増加した結果、セグメント利益5,091百万円（同115.3%）となった。

## プレミアムサービス事業

貴金属相場が引き続き高水準で推移したことなどを背景に、仕入金額の増加に伴い売上高は前期を上回り、第3四半期累計売上高6,280百万円（前期比120.7%）となった。人件費等の販売費および一般管理費を売上総利益の増加が上回り、セグメント利益114百万円（同492.5%）となった。

## 海外事業

アメリカ合衆国の「BOOKOFF」、マレーシアの「Jalan Jalan Japan」それぞれにおいて、新規出店および過年度出店が寄与し、売上高が前期を上回り、第3四半期累計売上高5,142百万円（前期比113.0%）となった。

アメリカ合衆国において、人員増加や倉庫増設など出店に向けた先行投資が増加したことや、マレーシアにおいて、既存店売上高が前期を下回ったことなどにより、セグメント利益477百万円（同82.7%）となった。

単位：百万円

事業セグメント		2025年5月期 3Q累計	2026年5月期 3Q累計	前年同期差	前年同期比
国内ブックオフ事業	売上高	77,490	<b>83,118</b>	+5,627	107.3%
	セグメント利益	4,417	<b>5,091</b>	+674	115.3%
プレミアムサービス事業	売上高	5,202	<b>6,280</b>	+1,078	120.7%
	セグメント利益	23	<b>114</b>	+90	492.5%
海外事業	売上高	4,548	<b>5,142</b>	+593	113.0%
	セグメント利益	576	<b>477</b>	▲99	82.7%
その他事業	売上高	1,138	<b>1,241</b>	+102	109.0%
	セグメント利益	▲169	<b>▲237</b>	▲68	-
調整額（全社）	セグメント利益	▲1,403	<b>▲1,578</b>	▲174	-
連結	売上高	88,380	<b>95,782</b>	+7,401	108.4%
	経常利益	3,445	<b>3,867</b>	+422	112.3%

2024年11月に不正再発防止策として**予防的統制強化**に加え、**発見的統制（チェック）の強化**と会社全体で**不正を撲滅する姿勢の徹底**により、不正行為を抑止する環境づくりをすることを発表。2025年5月期末時点で優先順位の高い再発防止策については完了済み。

2026年5月期は「防犯カメラの増設」「従業員アンケート」について終了見込み。継続的に「システム改修による不正防止対策」「店舗運営人員増強に関連する対策」を実施。

再発防止策 構成1	再発防止策 構成2	再発防止策 構成3	再発防止策 構成4
業務ルールの見直しとシステム強化	業務統制に関するチェック強化	人員配置・評価基準の見直し	コンプライアンス・企業倫理向上
今回の不正事案の手口を踏まえた現場業務の対策 (予防的統制強化)	不正をさせない、早期検知を踏まえた対策 (発見的統制 (チェック強化))	再発防止策実行の有効性を高めるための対策	

## 2026年5月期 四半期別前年同期比

	1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	4Q	通期
売上高	104.0%	109.1%	106.5%	<b>108.6%</b>	107.3%		
売上客数	100.4%	101.2%	100.8%	<b>100.7%</b>	100.8%		
仕入高	112.5%	102.8%	107.2%	<b>110.3%</b>	108.3%		
仕入客数	105.2%	98.0%	101.3%	<b>98.8%</b>	100.4%		

## (参考) 2025年5月期 四半期別前年同期比

	1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	4Q	通期
売上高	105.5%	104.9%	105.2%	105.0%	105.1%	103.3%	104.6%
売上客数	103.9%	103.6%	103.7%	101.6%	103.0%	100.2%	102.3%
仕入高	90.9%	100.0%	95.7%	104.6%	98.7%	105.0%	100.4%
仕入客数	97.8%	99.8%	98.9%	100.2%	99.3%	99.6%	99.4%

商材名	売上高				仕入高			
	3Q期間		累計		3Q期間		累計	
	前年同期比	構成比	前年同期比	構成比	前年同期比	構成比	前年同期比	構成比
書籍	105.3%	21.3%	103.4%	21.5%	96.2%	13.1%	96.2%	13.4%
ソフトメディア (音楽・映像・ゲーム)	102.3%	20.0%	100.3%	20.5%	100.6%	21.0%	95.7%	20.8%
アパレル	105.8%	11.3%	107.8%	11.8%	104.6%	9.4%	104.4%	9.4%
貴金属・腕時計・ブランドバッグ	123.0%	10.0%	119.5%	10.0%	139.8%	18.7%	125.8%	17.6%
トレーディングカード・ホビー	114.8%	23.6%	114.6%	22.9%	112.6%	27.5%	119.9%	28.0%
家電・携帯電話	108.6%	5.0%	105.6%	4.9%	117.1%	6.0%	107.2%	6.0%
スポーツ・アウトドア用品	99.6%	4.1%	102.0%	3.7%	102.0%	3.4%	101.8%	3.7%
その他	112.5%	4.7%	107.0%	4.7%	98.9%	1.0%	101.3%	1.1%

## 国内ブックオフ事業

区分	店舗名	店舗パッケージ	OPEN日	所在地	売場面積	連結対象期間
直営店	トライアル伊勢崎中央店		2025/11/6	群馬県伊勢崎市	761坪	第2四半期
直営店	シーナシーナ琴似店		2025/12/10	北海道札幌市	282坪	第3四半期
直営店	ゆめまち習志野台モール店		2026/2/5	千葉県船橋市	617坪	第3四半期

## プレミアムサービス事業



区分	店舗名	店舗パッケージ	OPEN日	所在地	売場面積	連結対象期間
直営店	井筒屋中間ショッブ店		2025/7/18	福岡県中間市	-	第1四半期
直営店	日本橋高島屋S.C.店		2025/7/25	東京都中央区	-	第1四半期
直営店	柏高島屋ステーションモール店		2025/9/13	千葉県柏市	-	第2四半期
直営店	芦屋モンテメール店		2025/11/1	兵庫県芦屋市	-	第2四半期
直営店	天神地下街店		2026/1/23	福岡県福岡市	-	第3四半期

## 海外事業

区分	店舗名	店舗パッケージ	OPEN日	所在地	売場面積	連結対象期間
直営店	NOHO店		2025/3/28	アメリカ合衆国	47坪	第1四半期
直営店	Mesa Mall Nilai店		2025/5/23	マレーシア	282坪	第1四半期
直営店	Galleria Kotaraya店		2025/8/2	マレーシア	104坪	第2四半期
直営店	Wangsa Maju店		2025/9/4	マレーシア	239坪	第2四半期
直営店	Summit USJ店		2025/10/17	マレーシア	593坪	第3四半期

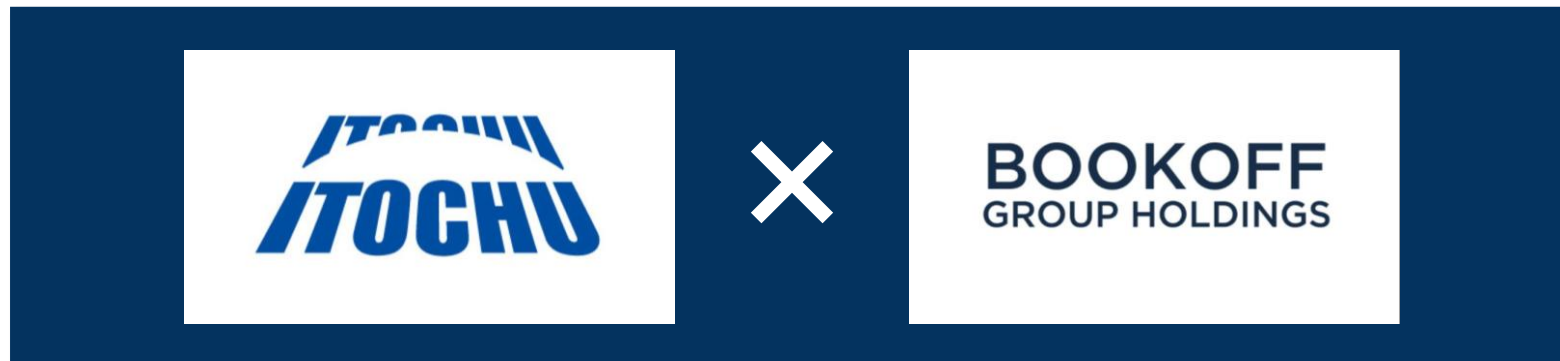
※ 海外子会社の決算期が連結会計期間と異なるため、「Jalan Jalan Japan」は2025年4月～2025年12月まで、「BOOKOFF USA」は2025年3月～2025年11月までにオープンした店舗を記載。

## その他事業

区分	店舗名	店舗パッケージ	OPEN日	所在地	売場面積	連結対象期間
直営店	八王子駅前店		2025/6/21	東京都八王子市	41坪	第1四半期
直営店	千葉駅前店		2025/10/16	千葉県千葉市	38坪	第2四半期

営業年月	2025年					2026年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
<b>国内ブックオフ事業計</b>	741	742	740	739	735	732	733	729	727			
国内ブックオフ事業												
直営店	374	373	380	379	375	373	374	372	370			
加盟店	367	369	360	360	360	359	359	357	357			
<b>プレミアムサービス事業</b>	52	54	53	54	53	54	53	53	53			
<b>海外事業計</b>	44	45	45	45	46	47	47	47	47			
海外事業												
直営店	36	37	37	33	34	35	35	35	35			
加盟店	8	8	8	12	12	12	12	12	12			
<b>その他事業</b>	7	7	7	7	8	8	8	8	8			
<b>グループ合計</b>	844	848	845	845	842	841	841	837	835			

※ 国内連結子会社、海外子会社の決算期が連結決算期と異なるため、当連結会計期間に対応する店舗数を記載。



生活者に身近な顧客接点を拡大し、  
国内・海外で「すてない社会」の実現を目指す

## 業務提携

### ① 仕入強化

ファミリーマート店舗網を活用し、生活者に身近な場所でリユース機会を拡大

### ② 出店拡大および集客

プレミアムサービス事業における出店拡大および集客の強化を、伊藤忠商事のグループアセットを活用し、推進

### ③ 海外事業推進

伊藤忠商事の海外ネットワークを活用し、海外事業展開を推進

### ④ 新規事業創出

両社の顧客基盤・サービス基盤を活かし、新たな事業・サービスを創出

## 資本提携

✓ 伊藤忠商事株式会社は、当社株主（小学館・集英社・講談社）との相対取引により、当社株式879,000株（議決権比率5.01%）を取得済み

▶詳細はこちら(伊藤忠商事株式会社との資本業務提携契約締結に関するお知らせ)

ファミリーマートのお買い物ついでに  
R-LOOPに「入れるだけ」という手軽なリユースを実現

2026年4月13日(月)から、東京都内（世田谷区・杉並区）の約30店舗で実証実験を開始



R-LOOPとFamilyMartによる循環型社会への取り組み

提携による具体的な取り組み

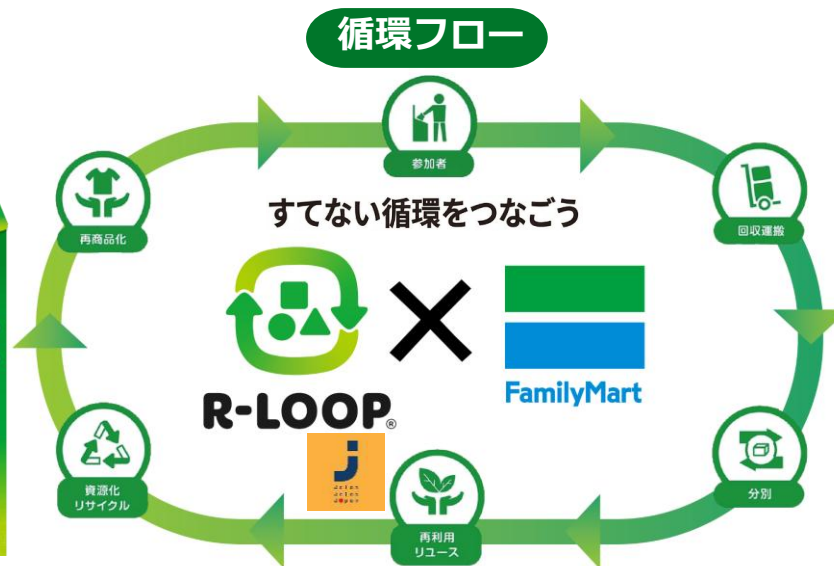
ファミリーマート店舗への  
R-LOOPの設置拡大

ブックオフ流通網を活用した  
リユースの推進

サーキュラーエコノミー  
実現への協働

R-LOOP®とは？

ご家庭で使わなくなった衣料品や雑貨を専用の回収ボックスに投函するだけで、リユースやリサイクルへ循環させる、サーキュラーエコノミーを推進するブックオフとBPLab社の取り組み



衣料品

R-LOOPで回収できるモノ



ファッション雑貨・生活雑貨・おもちゃ



▶詳細はこちら(プレスリリース: コンビニのついでにリユースを)

単位：百万円

	2025年5月期 実績	2026年5月期 前回予想	2026年5月期 今回予想	前回差	前回比
売上高	119,205	127,000	<b>128,000</b>	+1,000	100.8%
営業利益	3,448	3,800	<b>4,000</b>	+200	105.3%
経常利益	3,903	4,000	<b>4,300</b>	+300	107.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,101	2,200	<b>2,400</b>	+200	109.1%
1株あたり期末配当金	25円	30円	<b>30円</b>	-	100.0%

- ✓ 中期経営方針3年目にあたる2026年5月期は、国内ブックオフ事業の既存店の伸長と各事業における新規出店により、売上高は引き続き伸長する。
- ✓ 国内ブックオフ事業、プレミアムサービス事業において、売上高が想定を上回って推移し、特に国内ブックオフ事業において、繁忙期である第3四半期の既存店売上高およびEC経由売上高がともに好調に推移した。
- ✓ 第3四半期の業績に加え、第4四半期における国内ブックオフ事業の来期大型出店等に向けた先行投資および不安定な国際情勢を背景としたプレミアムサービス事業における貴金属相場等の変動を踏まえ、通期業績予想を上方修正。
- ✓ 期末配当金は、前期実績から5円増配し、1株あたり30円を予定。

多くの人に楽しく豊かな生活を提供する

# BOOKOFF GROUP HOLDINGS

本資料に関するお問い合わせ先

ブックオフグループホールディングス株式会社 グループ戦略企画部

Mail : [irinfo@bookoff.co.jp](mailto:irinfo@bookoff.co.jp)

[https://www.bookoffgroup.co.jp/contact\\_us/top/contact-us-01/](https://www.bookoffgroup.co.jp/contact_us/top/contact-us-01/)

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち、歴史的事実でないものは、当社が現在入手可能な情報に基づき判断した将来の見通しに関する記述であり、経営環境等の変化により内容が大きく変動する可能性があります。